

国会ラグビーW杯 2019 大会 鍼灸医療ケア活動報告書

令和元年10月3日

公益社団法人 日本鍼灸師会

業務執行理事 オリパラ委員長 安田政寛



(公社)日本鍼灸師会 東京オリンピックパラリンピック委員会

国会ラグビーW杯 2019大会 鍼灸医療ケア活動報告書

令和元年10月3日
公益社団法人 日本鍼灸師会
業務執行理事 オリパラ委員長 安田政寛

(公社)日本鍼灸師会に衆議院議員中谷真一代議士から依頼があり、東京都、山梨県で行われる国会ラグビーワールドカップにおいて鍼灸医療ケア活動を行ったので報告する。

【概要】

主催 ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟
主管 国会ワールドカップ実行委員会
共催 山梨県 山梨県教育委員会 富士河口湖町
日本ラグビーフットボール協会 山梨県ラグビーフットボール協会

期間 令和元年9月13日(金)～19日(木)

会場 14日、15日、17日 山梨県富士河口湖くぬぎ平スポーツ公園
19日 東京都世田谷駒沢公園(活動せず)

参加国 日本 アルゼンチン オーストラリア フランス ジョージア
アイルランド ニュージーランド 南アフリカ イングランド

選手日程 9月13日(金) 歓迎会・組み合わせ抽選会
14日(土) 練習日
15日(日) ゲーム4試合(9:00～13:00)
16日(月) 山梨観光 山梨県歓迎夕食会
17日(火) ゲーム8試合(9:00～17:00)
18日(水) 東京観光
19日(木) ゲーム4試合(10:00～14:00) 衆参議長主催夕食会

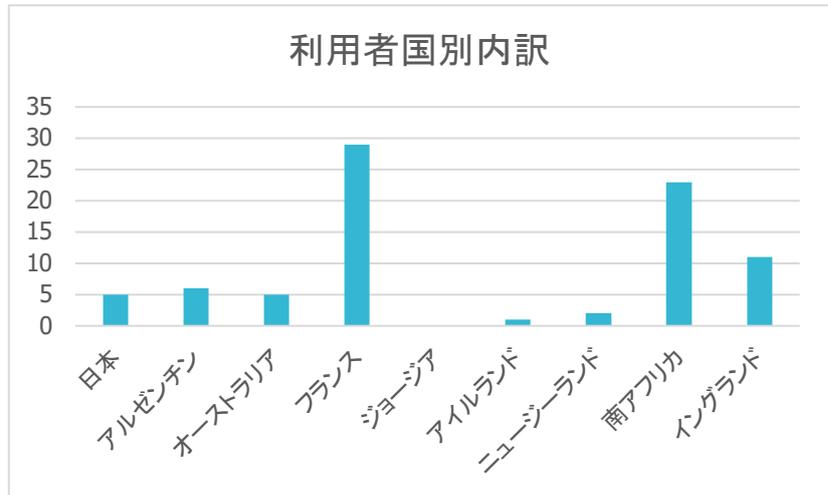
【活動内容】

9月4日 備品リスト作成、のぼり旗発注
9月8日 国会ラグビーW杯用カルテ作成
9月9日 グループLINEにて鍼灸医療ケアスタッフ打ち合わせ開始
(ラグビー外傷マニュアル、服装、治療着、名刺、
カルテ、備品、厚生労働大臣免許保有者証、雨対策等)
9月14日 富士河口湖くぬぎ平スポーツ公園でケア活動拠点の確認
玉木武彦秘書、勝村紘一ラグビーフットボール協会事務局長と打ち合わせ
9月15日 安田政寛委員長(長野県) 渡辺慎司会員、深澤栄一会員(山梨県)
鈴木光一郎会員、刑部章仁会員(静岡県) 以上5名で対応
17日 安田政寛委員長(長野県) 渡辺慎司会員、石川亮一会員(山梨県)、
大窪隆人会員、有賀大祐会員(長野県)、秋澤泰久(神奈川県)、
以上6名で対応

【結果】

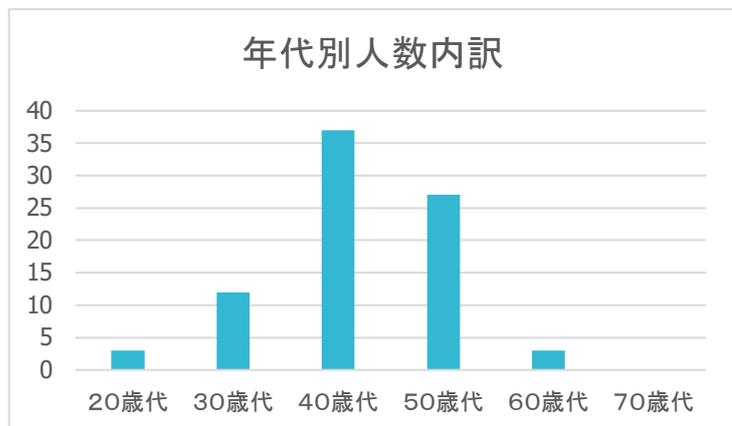
①利用者国別内訳(2日間合計 82 名対象)

参加国	利用者
日本	5
アルゼンチン	6
オーストラリア	5
フランス	29
ジョージア	0
アイルランド	1
ニュージーランド	2
南アフリカ	23
イングランド	11
合計	82



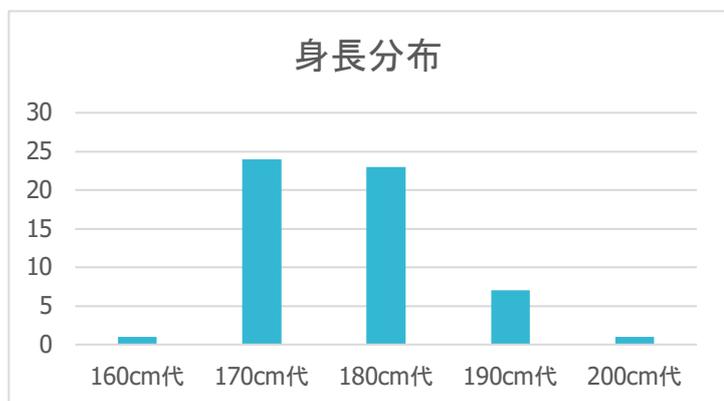
②年代別分布(2日間合計 82 名対象)

年代別	人数
20歳代	3
30歳代	12
40歳代	37
50歳代	27
60歳代	3
70歳代	0



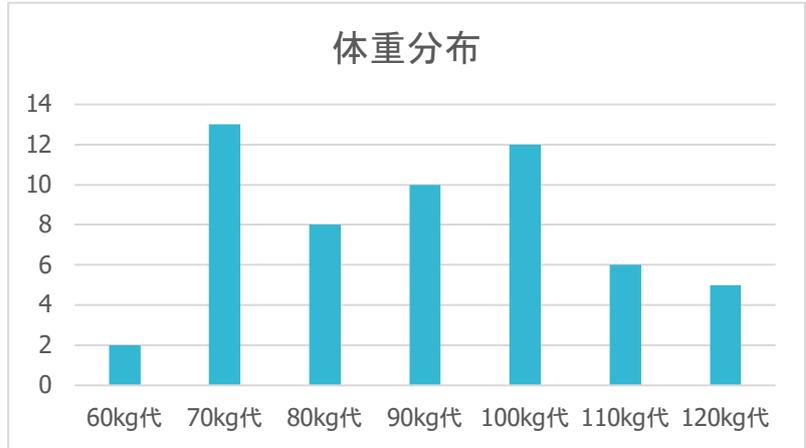
③身長分布(記入済 56 名対象)

身長	人数
160cm代	1
170cm代	24
180cm代	23
190cm代	7
200cm代	1



④体重分布(記入済 56 名対象)

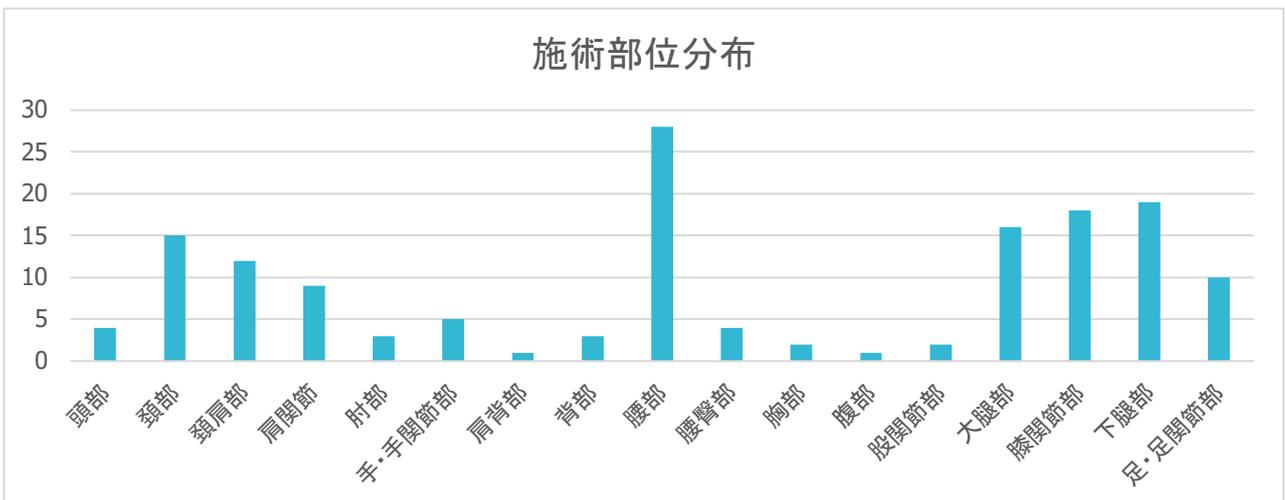
体重	人数
60kg代	2
70kg代	13
80kg代	8
90kg代	10
100kg代	12
110kg代	6
120kg代	5



⑤施術部位分布(82 名対象：一人 1 部位～ 3 部位の集計)

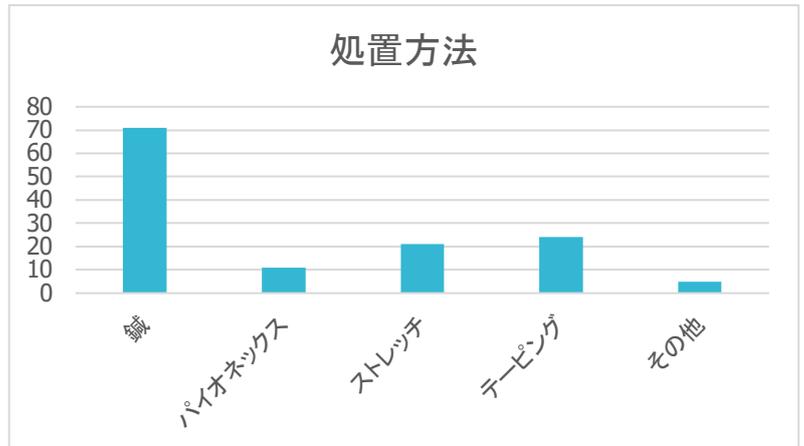
施術部位	人数
頭部	4
頸部	15
頸肩部	12
肩関節	9
肘部	3
手・手関節部	5
肩背部	1
背部	3

施術部位	人数
腰部	28
腰臀部	4
胸部	2
腹部	1
股関節部	2
大腿部	16
膝関節部	18
下腿部	19
足・足関節部	10



⑥処置内訳(82名対象：1つ～3つ併用の集計)

処置方法	人数
鍼	71
パイオネックス	11
ストレッチ	21
テーピング	24
その他	5



【考察】

国会ラグビーW杯2019では、大変多くの国会議員やスタッフに施術ブースへ足を運んで頂き、誠に感謝しています。これも事前に、事務局長秘書の玉木武彦氏に各国のチームへ日本からのおもてなしとして「鍼灸トリートメントブース」を運営しているとアナウンスして頂いた結果で、各国に帯同していた通訳の方へのアプローチも成功した結果だと考えます。前日の打ち合わせ後、施術所を戸外からクラブハウスの中に移動して施術が行えた事も良かったと感じています。

国会ラグビーW杯ということで、出場選手は各国の国会議員とのふれこみでしたが、実態は違いました。出場選手の中で国会議員の数は数名で、各国ラグビー前代表のサポーターが大多数で、W杯本番チームと変わらない体格と迫力には圧倒されました。

身長・体重は記入漏れが多く、過半数程度のデータ集計となりましたが、身長は高く体重は100kg前後の選手がほとんどで、普段来院される患者様とは肉体のスケールが全く違ったのが印象的でした。

また、施術部位に関してはラグビー選手特有の頸部圧迫によるヘルニア、僧帽筋上部の打撲傷、肩関節障害が多く、下肢下腿筋群の障害、下肢関節障害も多く見られました。中でも腰部痛は一般臨床と同様にダントツで多く見られました。

処置の内訳では、大多数の受診者が「アキュパンクチュア」と鍼施術を希望してくれましたので鍼灸師としては大変光栄で、当初マッサージ等の手技を求められるのではと予想しておりましたが、予想をはるかに覆す結果となり、現場は大変忙しく嬉しい悲鳴をあげていました。

パイオネックスに関してはコンタクトスポーツということもあり当初禁止として始めましたが、試合に出ないスタッフに関しては主にパイオネックスゼロでの対応としました。

テーピング単独の要求には、柔道整復師会のテントブースへ案内したり、試合後のハムストリングス断裂が疑われる選手は医師会スタッフブースへ案内したり、少ないスタッフでの運営でしたが、みんなフル回転で協力して対応できたことは良かったです。

コミュニケーション面に関しては、慣れない語学で問診して、カルテを記入するという作業はとても大変でした。もう少し語学堪能なスタッフがいて、指示出し等に回ってくれれば現場の回転率やカルテの精度も高いものにできたと考えます。

【まとめ】

国会議員ラグビーワールドカップ 2019 大会への鍼灸医療ケアチーム派遣は 1 年半前から中谷真一衆議院議員が国会議員ラグビーワールドカップ事務局長へ働き掛けてきたが、中々了解の許可が下りなかった。2019 ラグビーワールドカップ大会事務局の裁可が下りたのか、急遽参加が決定となる。約 1 か月足らずの準備期間でしたので、会場へ近い師会へ今回はスタッフを依頼させて頂いた。

当初 9 月 15 日と 17 日が富士河口湖くぬぎ平スポーツ公園、19 日が東京都駒沢公園で、河口湖は山梨県、静岡県、長野県、神奈川県での対応とし、駒沢公園は東京都師会を中心に関東師会への依頼予定でしたが、駒沢公園の医療スタッフブースが最後まで情報がなく、やむなく断念することとなりました。後日談として、事務局へ何故「鍼灸ケアブース」が無いのかと各国の選手から問い合わせがあったと玉木武彦秘書から報告がありました。

会場近隣県師会である山梨県、静岡県、神奈川県、長野県の協力の元、セイリン（株）より鍼の御提供、長野県のスポーツ対応準備キット、ベッド提供などで消耗品はまかなうことができました。また、小峰拓也オリパラ委員提供の予診表、施術表、また東京都鍼灸師会のスポーツ対応マニュアルなど、事前研修の取れない中でグループ LINE を活用してスタッフ間で情報共有を行ったことも良かった点である。

また、言葉の壁については、当初ポケット対応としていたが、次から次へのフランス語交じりの英語や、スペイン語交じりの英語など、翻訳機が混乱しておりましたがシンプルな英単語が結構通じることがわかり、翻訳機なしでも乗り切ることができました。しかし、ワールドワイドな大会での鍼灸ケアにおいては、主要 10 か国語くらいのマニュアルを作成しておくこと今後の為には便利ではないかと思われる。特に予診表については英語バージョンが必要でした。考察にも記載したように語学堪能なスタッフがいて、指示出し等に回ってくれれば、もう少しスムーズな対応が出来たと思われる。

今回は我々鍼灸師会以外にも他師会がブースを出しておりましたので、大会の準備中に医師会テントブースや柔道整復師会テントブースへ挨拶に回り、スタッフ全員で名刺交換した。一応各国には 1 名ずつトレーナーが帯同していたが、あまり上手とは言えずテーピングも我々のブースで対応したのですが、柔道整復師会テントブースはかなり暇なようでしたので、テーピング対応者は途中からそちらに御案内し他師会とも上手く連携をとりました。

現在、鍼灸師会では各地域でのマラソン大会のケア活動が主としてボランティアで行われているが、今回のラグビー競技というコンタクトスポーツにおける医療ケア活動においても十分に必要とされることがわかりました。選手は古傷を持った方が多く久しぶりのプレーで身体の各所に疼痛が再発したり、慢性的に患っている部位に処置させていただいたり、選手に大変喜ばれた事が印象的でした。

体格的には大柄な選手達ではあるが、寸 3 や寸 6 の 1, 2 番でも充分対応できましたし、2 寸は殆ど使用する必要はありませんでした。

日本鍼灸師会東京オリパラ委員会の考える今後の展望としては、一昨年来「スポーツ鍼灸」として実技研修会、講習会を開催し一つの方向は示せたと思います。今後も各地で開催される大会やイベントをバックアップし、その競技毎に合わせた鍼灸医療ケアのスタンダードを作り上げ「スポーツ鍼灸」という分野の確立とデーターの蓄積を目指します。

【国会ラグビーW杯 2019 大会ホームページやインスタグラムにも掲載】

<https://www.parliamentaryworldcup.com>



【活動写真】

富士山とくぬぎ平スポーツ公園



クラブハウス



治療風景

